

北アルプス不明、2人を無事救助 雨しのぎ動かず2晩

朝日新聞 DIGITAL 2014年8月17日（日）17:59

北アルプスの富山・岐阜県境にある赤木岳（2622メートル）近くの赤木沢（富山市）で沢登りをされていて、15日から行方不明となっていた京都市下京区の会社役員男性（67）と同市山科区の女性（65）は、17日午後3時50分ごろ、沢近くの樹林帯で富山県警へりに発見、救助された。

同県警によると、2人はツェルトと呼ばれる簡易テントで雨をしのぎながら、動かずに2晩を過ごしたといい、けがはなかった。

（読売新聞ニュース）

雨水沸かし救助待つ 仙台カゴ遭難・2人救助

2014年08月19日

「生きて帰れました。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした」

仙台市青葉区の山中で行方不明になっていた同市太白区緑ヶ丘、小学校教諭秋山正樹さん（56）は18日、市消防局のヘリコプターで救助され、搬送された東北大病院（仙台市青葉区）で駆けつけた友人約20人に頭を下げた。

仙台北署などによると、秋山さんは約30年の登山経験があり、14日朝、仙台市泉区黒松、パート従業員村上ちか子さん（62）と沢登りで岩山「仙台カゴ」（1270メートル）を目指して入山。翌15日午前5時半頃、下山しようとしたが、虫に刺された村上さんの両目のまぶたが腫れたため、下山を諦めて近く林道でテントを張り、救助を待つことにしたという。

秋山さんによると、非常食や4リットルの水を分け合い、夜中は寒さで震えて寝付けなかったため、テントのカバーにためた雨水をガスコンロで沸騰させて飲み、体を温めた。食料などが残り1日分になった17日夜、「あと1日頑張れば救助に来てくれる」と不安そうな村上さんを励ましたという。

秋山さんは読売新聞の取材に対し、「多くの山を登ってきたが、改めて自然の怖さを知った」と振り返った。所属する山岳サークル「朋友会」のメンバーで無職石野多江子さん（75）は「心配だったが、無事で本当に良かった」と話していた。

2014年08月19日 Copyright © The Yomiuri Shimbun